

発言者	内容
司会（会長）	東京書籍、開隆堂について、それぞれいかがか。
委員	5年の児童が初めて学ぶ教科なので、ガイダンスが大事である。東京書籍には、あなたの生活をよりよく変えていく教科です、と書かれている。開隆堂は、実習や観察、調査等を通して学んだことを実際の生活に生かせることを学ぶ教科であると書かれている。実際の生活に生かすだけではなく、自分の生活をよりよくしていく方が、教科の目標としては適切である。東京書籍の折込ページには、家庭科でできるようになること、知りたいこと、やってみようことを書いてみましょう、というところがある。独り立ちをするための知識や技能を身に着けるための大事な教科なので、東京書籍の方が使いやすい。
委員	東京書籍の方が家庭科の学びについて教師が説明しやすい。
委員	東京書籍は自主性が促される。
委員	昨今、お茶を急須で入れる家庭が減っている。東京書籍は、急須でのお茶の入れ方について写真で示し詳しく説明している。これまで説明が不必要だった部分であるが、今の時代、このような説明も必要である。日本の伝統をしっかり押さえている。
委員	料理の手順について写真でわかりやすくしているのは東京書籍である。調理のポイントも明確である。
委員	最近、話題になったが、ジャガイモの芽が有害であることを知らない教師もいる。東京書籍は芽のとり方を写真と説明書きで大きく注意しているが、開隆堂は扱いが小さい。安全面の配慮はどちらも取り上げられていた。
委員	東京書籍はレイアウトがよく見やすい。料理や手芸のことが多く載っており、子どもたちが興味を持ちやすい。開隆堂は1ページの情報量がやや過多であり、文字が小さい。
司会（会長）	東京書籍の教科用図書を推薦する。